

2017.8.23



牛コロナウイルス病による 下痢に注意！

平成29年6月初旬から中旬にかけ、管内の1地域4酪農場において牛コロナウイルスによる集団下痢が発生しました。
6月末には終息しましたが、対策をして発生・拡大を防ぎましょう。

牛コロナウイルス病とは

子牛や成牛の消化器系に異常を示す伝染病で、搾乳牛では泌乳量の大幅な低下をきたし、経済的な被害が大きくなります。

原因と感染経路

牛コロナウイルスが下痢便や鼻汁を介して感染

特徴

牛コロナウイルス病は、成牛の冬季赤痢として知られています。
しかし、急激な気温の低下や著しい日較差ストレスがあったときに好発します。
特に本病が搾乳牛に発生すると、ほとんど一斉に下痢をし、泌乳量が激減します。

主な症状

〈子牛〉

潜伏期間：1～2日

乳白色～黄色の水様下痢、発熱、脱水、鼻汁、発咳

〈成牛〉

潜伏期間：3～7日

淡褐色～暗緑色の水様下痢、血便、泌乳量の大幅な低下

対策

予防法

- ◇ 妊娠牛へのワクチン接種（秋季の接種が効果的）と初乳による免疫付与。
- ◇ 導入牛は1週間程度、隔離飼育して異常がないことを確認する。
- ◇ 人や車両の出入りを制限する。
- ◇ 牛舎出入り口に踏み込み消毒槽を設置する。
- ◇ 牛舎環境の定期的清掃・消毒を実施する。
- ◇ 気温差のある時期は、牛の体調及び牛舎環境に充分注意する。

発生した場合

脱水改善のため補液、細菌による二次感染を防ぐための抗生物質の投与。
畜舎内外への石灰散布。



**対処が遅れると近隣農家へ感染が拡大する恐れがあります。
異常を感じたらすぐにむつ家畜保健衛生所まで連絡してください。**

異常を発見したらすぐにむつ家保まで！！！！



下北地域県民局地域農林水産部むつ家畜保健衛生所
むつ地区家畜衛生推進協議会

〒035-0072 むつ市金谷2丁目 18-25

電話 0175-22-1254 FAX 0175-22-1259

夜間・休日の連絡先 090-5841-6810